

地域医療連携室

1. スタッフ構成(2025 年 3 月時点)

- 二宮 朋之;地域医療連携室長
- 井上 武;地域医療連携室副室長
- 椿 崇仁;地域医療連携室副室長
- 越智 祐二郎;地域医療連携室長補佐

【医療相談職員】

<看護部>

- 箱岡 由香、濱田 由香、上野 理江、季羽 勝栄、
宮本 和可、渋谷 純子、西田 舞衣、塩出 美奈子

<社会福祉士>

- 石山 久司、松田 まどか、井上 由美、小笠原 佑記、
片岡 政輝、宮本 果野子、吉村 真紀、吉田 珠美

<事務局>

- 山本 亜衣、三好 旭

2. 運営方針

愛媛県における円滑な医療の推進に寄与するため、地域医療連携の拡充に向けて活動を行っています。地域医療支援病院として地域医療機関との連携を推進するとともに、県民の安心の拠り所となる病院を目指し、愛媛県の医療水準の向上に貢献できるよう地域の医療機関ならびに介護施設等とのさらなる連携を進めています。

3. 実績

<業務内容>

- (1) 紹介患者の受付・予約(FAX による受付)
 - ・ 紹介患者(地域医療機関からの紹介患者)の受付・登録・予約
 - ・ 逆紹介患者(地域医療機関への紹介患者)の医療情報の送付
 - ・ セカンドオピニオンの予約・調整
- (2) 高額医療機器検査の受付・予約
 - ・ 紹介患者のCT、MRI、RIの受付・登録・予約
 - ・ PET-CTの受付・登録・予約
- (3) 医療相談
 - ・ 逆紹介患者に対する医療相談
 - ・ 入院・外来患者に対する医療相談
- (4) 医療情報等の地域医療機関への提供、情報発信
 - ・ 各種勉強会等の案内
 - ・ 医師会との連携
 - ・ 病院・診療所訪問
- (5) がん相談および支援
 - ・ がんに関する相談
 - ・ 広報活動

主な業務内容は、紹介患者の受付・予約(FAX による受付)、高額医療機器検査の受付・予約、転院や退院支援に関する医療相談、がん相談、医療情報等の地域医療機関への提供などです。協議案件については、地域医療連携室のスタッフでカンファレンスを行い、対応を決めています。

かかりつけ医が患者さんを紹介しやすい体制づくりを目指して、外来担当医の予約枠に地域医療連携室事前予約優先枠を設け、

診療日時の予約の取得と紹介元への返信の迅速化に努めています。

紹介患者数は年間約 27,000 件となり、やや増加傾向にあります。地区別では、松山市の医療機関から紹介が約 7 割を占め、松山市外や南予・東予・県外からもご紹介をいただいています。

■ 診療科別紹介元地区別件数

診療科	患者数	中予		東予	南予	県外
		松山市	松山市以外			
麻酔科	5	3	1	0	1	0
救急科	167	113	16	13	24	1
産婦人科	1,756	1,352	73	80	155	96
新生児内科	58	33	2	12	7	4
小児科	1,244	1,020	144	30	27	23
小児外科	236	159	32	24	13	8
糖尿病・内分泌内科	550	381	86	19	32	32
腎臓内科	703	471	119	51	53	9
泌尿器科	1,598	1,181	227	69	92	29
腎移植外来	105	60	7	25	12	1
消化器内科	3,203	2,352	447	89	282	33
消化器外科	1,208	780	152	78	179	19
血液内科	472	277	56	70	44	25
呼吸器内科	92	61	4	11	13	3
感染症内科	5	4	0	1	0	0
呼吸器外科	1,693	1,175	218	107	168	25
乳腺・内分泌外科	784	624	36	40	69	15
放射線科	1,493	1,075	108	11	295	4
脳神経内科	729	515	102	41	62	9
脳神経外科	819	565	143	35	57	19
循環器内科	1,959	1,290	317	126	171	55
心臓血管外科	642	332	81	79	140	10
総合診療科	1,054	841	135	17	48	13
整形外科	2,077	1,375	434	130	99	39
形成外科	660	535	56	27	22	20
皮膚科	613	474	98	14	17	10
眼科	883	544	82	33	214	10
耳鼻咽喉科	1,066	793	147	44	69	13
精神科	10	5	2	0	1	2
漢方内科	85	55	5	16	6	3
歯科・口腔外科	992	754	184	10	36	8
合計	26,961	19,199	3,514	1,302	2,408	538

CT、MRI、PET-CT 等、高額医療機器の利用は 1,478 件となり、件数はやや減少しています。紹介患者数は 2022 年より回復傾向にあります。

■ 紹介件数

	2021	2022	2023	2024
各科合計	22,429	24,013	25,129	25,483
放射線科	1,357	1,431	1,518	1,478

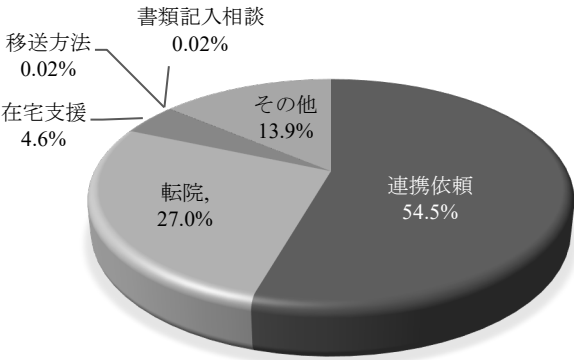
■ 放射線科紹介件数内訳(2024 年)

	件数
PET	375
CT	621
MRI	471
RI	5
その他	6
合計	1,478

医療相談については、相談件数は年々増加傾向にあり、相談内容は連携依頼、転院に関することが全体の約 8 割を占めています。

■ 医療相談介入件数および主たる相談内容

相談内容	件数
連携依頼	3,273
転院	1,622
在宅支援	274
移送方法	1
書類記入相談	1
その他	836
合計	6,007



地域医療連携室では顔の見える連携を目指し、継続的に病院訪問を行ってきました。コロナ禍においても、2021 年より Web での地域連携室との面談を開始し、現在は 12 施設と定期的に面談を実施しています。また 2022 年 12 月から病院訪問を再開しました。2024 年は 20 医療機関に訪問を行いました。

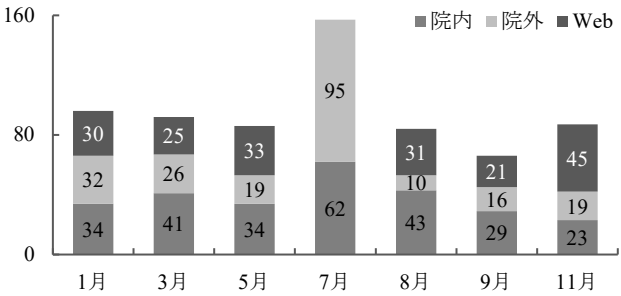
基幹病院としての役割を果たすために、情報発信を目的に医療連携懇話会(学術講演会)をハイブリット形式で開催しています。2024 年 1 月からは、毎月開催から隔月(奇数月)開催に変更しています。メール登録者の方々には、6 か月の期間限定で YouTube 愛媛県公式チャンネルにて懇話会の動画を公開しています。

■ 医療連携懇話会

	講義	テーマ
134 回 1 月 10 日 19:00～20:00	松山市消防局、救急科、看護部	病院前医療連携体制～連続性のある体制と教育～
135 回 3 月 13 日 19:00～20:00	泌尿器科、呼吸器内科、乳腺・内分泌外科	私たちの歩んだ道
136 回 5 月 8 日 19:00～20:00	整形外科、リハビリテーション部	上肢・手外科診療について
137 回 7 月 10 日 19:00～21:30	28 診療科	県立中央病院をまるごとご紹介します

138 回 8 月 21 日 19:00～20:10	血液内科、病棟看護師、地域医療連携室 泉川診療所、居宅介護支援事業所宝寿園	患者自身が自分の生き方を選択し、その希望を叶えるための支援を考える～血液悪性腫瘍患者の事例を通じて～
139 回 9 月 11 日 19:00～20:00	放射線科	神経内分泌腫瘍に対する新たな核医学治療『ルタテラ治療』について
140 回 11 月 13 日 19:00～20:10	総合診療科、脳神経内科	神経難病

■ 医療連携懇話会参加人数(人)



地域医療連携室発信の定期刊行物として「地域連携室便り」をホームページに掲載しています。コロナ禍においては毎月発行していましたが、2024 年 1 月からは対面で情報発信する場が増えてきたことを踏まえ、季刊(3・6・9・12 月)発行へ変更しています。

また、地域医療連携ネットワークシステム【媛さくらネット】の運用を行っています。2024 年 12 月末時点で、登録医療機関 24 施設、登録患者は延べ 449 人と増加しています。2023 年より閲覧可能な開示情報を拡大し、退院サマリの公開を行いました。また、閲覧期間の延長やアクセス権の期限が切れた場合の対応を行い、登録数の増加を目指しています。

< 地域医療支援病院について >

地域医療支援病院とは、医療施設機能の体系化の一環として、患者さんに身近な地域で医療が提供されることが望ましいという観点から、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施などを通じて、第一線の地域医療を担うかかりつけ医、かかりつけ歯科医等を支援する能力を備え、地域医療の確保を図る病院として相応しい構造設備などを有するものについて、都道府県知事が個別に承認する病院です。当院は 2010 年 10 月に認定され、地域医療支援病院の責務として次に挙げる事項について、地域の皆様方や医療機関に貢献できるよう支援しています。

診療情報提供書および返書管理については、システムを活用することで、返書率は向上しています。また 2023 年 4 月からは、かかりつけ医紹介カウンターの運用を開始し、地域医療機関への逆紹介を推進しています。

< 地域医療支援病院の責務 >

- (1) 紹介患者に対する医療の提供
- (2) 紹介患者の診療と逆紹介
 - ・ 開放型病床の利用
- (3) 医療機器の共同利用の実施
 - ・ CT、MRI、PET-CT 等医療機器の利用
- (4) 救急医療の提供
- (5) 地域の医療従事者に対する研修の実施
 - ・ 年間を通じた研修会、勉強会の実施と案内

4. 2025 年度目標

- (1) 紹介・逆紹介の推進
- (2) 退院後の生活を見据えた入院前・入院早期からの退院支援

医療の機能分化が求められる中、当院は急性期病院の役割を担っています。患者さんが病状にあった適切な治療を継続的に受けるためには、急性期病院と地域の医療機関との連携が不可欠です。顔の見える連携を通じて、地域の医療機関や介護施設等と、これまで以上に密接な連携を進めていく必要性を痛感しています。当院での専門的治療が終了した患者さんの転院や在宅療養など、逆紹介を含む入退院支援体制をさらに充実させ、在宅療養を支える関連部門の方々とカンファレンスを通じて情報共有や連携を図っていきます。同時に地域医療機関から紹介患者の受け入れを円滑に行っていくことが課題です。

また、地域医療連携ネットワークシステム【媛さくらネット】の活用によって、地域医療機関と適時、適切な情報共有ができるようになり、地域で一貫した医療を提供できるようになります。今後も地域医療機関との連携を図るためにも、【媛さくらネット】の周知・活用を進めていきます。

5. 学術関係

(1) 学会発表および講演

- 小笠原佑記、石山久司、上野理江、吉村真紀、塩出美奈子、二宮朋之、箱岡由香. 地域医療連携室における新人・新任職員を対象とした教育プログラムの作成. 第 62 回全国自治体病院学会 in 新潟. 新潟 (2024.10.31-11.1)